

出会い ふれあい 助け合い

サロン・あべの

Vol. 118

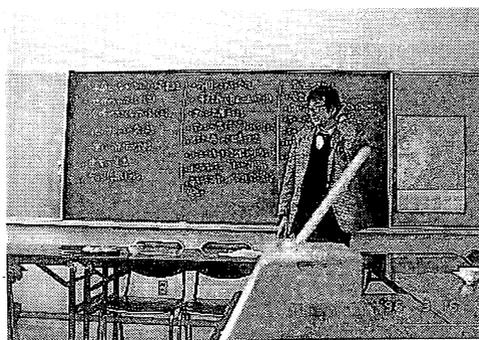
<サロン・あべの>十周年記念

サロン10年目の活動に思うこと

サロン・あべの3月の出会い

96年3月16日(土)午後1時から育徳コミュニティセンターにおいて、サロン・あべの3月の出会いを開催した。

3月のパネラーは、サロン・



OHPも使って話をする岡氏

あべのの10周年にふさわしく、あべのボランティア・ビューローの初代のコーディネーターであり、現在は上智大学で講師をされている岡知史氏であった。サロン・あべの紙に当初から連載中のエッセーでおなじみであ

り、サロン・あべのにとっては生みの親といった存在でもある。

自己紹介の後、オーバーヘッドプロジェクター(OHP)も使ったお話しが始まった。

サロンは講演会とはちがうものである。講演会はパネラーが一方的に話しをするのみで、参加者もただ聴くのみである。しかし、サロンの場合はパネラーは話題を提供するのであって、参加者とボランティア(運営委員)は混ざり合うようにして、その日の話題について盛り上げて行く。結果として互いの境がなくなり一体感が生まれれば、そこにサロンの意義が出てくる。

これまでのボランティア活動では、ボランティアする人とボランティアされる人との間に目に見えない境界線があったが、サロンでのボランティアはする側とされる側の区別がなく、お互いがボランティアのような関係

である。

サロン・ボランティアは「もてなし」のボランティアである。話題を提供するパネラーも食事会も見学会も、参加者をもてなすためのプログラムである。そのプログラムはもてなしの方法（出会の手段）であって、目的であってはならない。また、単に出会いたいといっても、知らない者同士が言葉を交わし打ち解けるのは難しく、そこに出会いを援助するボランティアが必要であり、プログラム作りが大切になってくるのである。

ざっとこんな話しをされた後に休憩を挟み、その間にこれらの10年後、つまり「20年目のサロン」がどうなっているのか、参加者にメモ用紙を配り、自由に書いてもらった。

それを黒板に書き出すと、実に様々な意見が飛び出してくる。

今を反映してインターネットの利用や、会場・場所のこと、活動の広がりや、資金難に苦しんでいる等々の意見が書き出され、それをもとにして、また参加者が意見を交わし合った。

岡氏のエッセーにはファンも多く、この日も、あのエッセーを書いている岡氏の顔を、一目見ようと参加した方も一人や二人ではなかったはずである。参加者も「さすがに岡氏だ」と、今回の出会いに満足されたのではないだろうか。

最後になったが、サロン・あべの10周年に対してセルフ社の井上氏から祝電が届いていた。また、今回OHPを利用するにあたって、大阪ゼロックス(株)から器材をお借りした。この紙面を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございます。

参加者30名 (上平幸雄)

<サロン・あべの>十周年記念

THANKS!

<サロン・あべの>は今年3月満10歳を迎えました。1986年に発足以来、みなさまと共に数々の出会いを作り、ふれあいを育て参りました。10周年、それは単なる通過点にしか過ぎません。しかし、<サロン・あべの>は記念として10周年記念誌「はあとが、はろー！」と絵葉書「わがまち阿倍野」を作りました。THANKS!

ありがとう。みなさまへ心から感謝をこめて。

<サロン・あべの>

いっしょが一番

新田 和子

はじめまして、ヘルパーの新田といいま
す。なにしろはじめての参加で、何もいま
までのことは知りませんが：

私も時々ボランティアとして参加するこ
とがあり、このようにして参加していいの
だろうかと迷っていました。先ほどの岡
先生のお話しを聞かせていただき、安心い
たしました。お世話をしなければとか、し
てもらわなければなどの思いなどなく、
一緒に楽しくすごせることが一番と私なり
に思っております。

あちこちのサロンで心やさしい出会い

和田 保子

この間は、ご挨拶もそこそこにかえって
しまい失礼致しました。

岡 知史さんってどんな方だろう？

この機会をのがしたら、もうお会い出来
ないんではないかと思ひ、後を子供に頼んで出か
けていきました。

とても親しみやすく、明るく心やさしい
方でした。又、富田さんの一人一人に対す
るやさしい心づかいと、お話しに、本当に感
心しました。

私も、お陰様で、鈴木さんや宮脇さんの
ようにとても気持ちのやさしい方と知り合



岡 知史氏 (吉田幾俊画)

いになることが出来ました。鈴木さんは、
とてもユーモアのある楽しい方です。又、
宮脇さんは、去年ウイズ東淀川へ牧口さん
のお話を伺いにいったおり、富田さんの

「用事があつて行けません、よろしくお
っしゃって下さい」

といわれていた事をお伝えして、ご挨拶を
しました時に、側におられたのでしよう。私

が早くから行きましたので、前の方で一人
で座って待っていましたら横にきて

「サロン・あべのへは、よく行かれるので
すか？」

と話かけて下さったのが、最初でした。

宮脇さんはオーストラリアへワーキング
ホリデーで行かれていた事があり、「ウイ
ズ東淀川」紙でそれを読み、長女がやはり
アメリカへ英語の勉強をしに、行きたがつ
ていますので、「個人的な事ですが、今興
味のあることとして、ワーキングホリデー
に関するようなお話を聞きたい」とウイズ
紙のアンケートに答え、お手紙も出しまし
た。「僕は、口べたですのでもっとウイズ
で話す機会はないでしょうか、個人的にい
つでもお話しします」とのお返事をいただき
ました。

子供も、いろいろお話を聞いたり、相談
にのっていただくのをもっと楽しみにして
います。

あちこちのサロンのサロンで、多くの心やさ
しい方々にお会い出来て、毎日があたたか
いものになっています。もうすぐ、暖か
くなります。桜が楽しみです。

知的障害のある人の支援体制づくり 阿部 幸恵

◆はじめに◆

ピープル・ファースト

ピープル・ファーストという名前を聞いたことがありますか？

知的障害のある人のあたらしい活動団体のことをそう呼びます。

「『知恵遅れ』と呼ばれるのはたくさんだ。『まず、人間(People first)』なんだ」と、アメリカの知的障害のある人が主張したことが名前の由来とされています。

従来知的障害のある本人の団体と異なるのは、目的がセルフ・アドボカシー(当

私にとってその出会いとは、それまでの「知的障害」観を変えたばかりでなく、その後の社会観までも大きく変えたのでした。

事者による権利擁護)にあることです。直接行政に交渉したり、委員として活躍したりと、自分たちの権利を守るための働きかけをしています。今日、その動きは、欧米・カナダをはじめ、世界中に広がっています。

ピープル・ファーストとははじめの出会い、一九九三年カナダのトロントで開かれた世界大会でした。司会進行はすべて本人。どの分科会も備えられたマイクに発言者の列ができ、会場に向かって力強く不満や主張が述べられます。そして、会場からは賛同の声がわき上がります。

彼らの多くが、ピープル・ファーストの活動を通じて、「できない」自分から「できる」自分へと変わっていったのです。

近年、日本でも知的障害のある人の自立に向けた動きは活発になっています。全国でピープル・ファースト結成に向けて、行政交渉などの様々な活動が盛んです。また育成会(親の会)でも本人部会ができた地域で自立して暮らすための生活支援センターが設立されるなど、本人を主体とした取り組みがなされています。

かつて、身体障害のある人が自らの権利を主張し、社会参加を果たしてきたように知的障害のある人もようやく、その実現の時を迎えようとしているのです。

障害の有無で判別されるのではなく、誰もが「まず、人間であること」から始まります。ピープル・ファーストなのです。

自立のための支援

障害のある人が地域に出て暮らすときに

サロン・あべの 95

☆平成7年度活動テーマ「くらしを考える」

平成7年4月～8年3月

月・日・曜日	会場	毎月の出合い
95年 4・15 ・土	育徳コミュニティ・ センター2F研修室	「ハンディキャプト者と同居」パネラー＝赤谷吉信氏 (大阪青山短期大学非常勤講師・Design Studio AKATANI 主宰)
5・20 ・土	在宅サービスセンター	「阿倍野区在宅サービスセンター」見学会・漁野善局長よりセンターの顔と素顔を知る
6・17 ・土	育徳園・3F 幸分ホール	さろんコンサート「シャンソンとお話のひとつとき…」 出演＝奥田真祐美さん(シャンソン歌手)
7・15 ・土	育徳コミュニティ・ センター2F研修室	「住居のお知恵拝借」 (参加者フリートーク)
8・6 ・日	工芸高校校庭	あべのカフェバルなんでも市通り「さろん亭」開店
9・16 ・土	育徳コミュニティ・ センター2F研修室	「福祉機器の話ー自立生活に役立つ道具とはー」 パネラー＝上田隆志氏(株式会社「ユーター」代表)
10・14 ・土	長居第二運動場	「第10回ふれあいボランティアフェスティバル」サロンスペシャル亭」市社協主催
10・21 ・土	育徳コミュニティ・ センター2F研修室	「グループホームを始めて4ヵ月、障害者が地域で生活するには」 パネラー＝岸田美智子氏(グループホーム「ほんわか」代表)
11・18 ・土	育徳コミュニティ・ センター2F研修室	「サロンで出会った人達」これからのサロンを考える」 パネラー＝窪田新一氏(サロン淀川代表)
12・2 ・土	育徳園3F 幸分ホール	「元氣いっぱい、笑顔いっぱい」のクリスマス」 ゲスト＝フォックス赤とんぼ5名・アメリカの留学生4名 手品：永堀厚子方
96年 1・20 ・土	ホテルエコーオオサカ 9Fラウンジバー	「手をつなげたらうれしいサロンの新年会」 福袋の抽選をする
2・17 ・土	育徳コミュニティ・ センター2F研修室	「人権意識の大切さ」日米障害者比較」 パネラー＝平下耕三氏(自立生活センター・ピア大阪事務局長)
3・16 ・土	育徳コミュニティ・ センター2F研修室	「サロン10年目の活動に思うこと」 パネラー＝岡 知史氏(上智大学文学部社会福祉学科専任講師)

◎その他の活動

- <サロン・あべの>紙毎月第3土曜日発行
- 毎月の広報活動…アベノ・タウン紙、朝日新聞、産経新聞、毎日新聞、読売新聞、他
- 海外文通…アメリカ=Patti Trucky、イギリス=Margaret Bowler、
韓国=馬 泰植、ドイツ=Brigitte Ehrenberg、
- 平成7年度大阪市ボランティア活動振興基金助成金交付受ける
- <サロン・あべの>十周年記念の出会い
「サロン活動10年目に思うこと」岡 知史氏(平成8年3月16日)
- <サロン・あべの>10周年記念誌「はあとが、はろー！」発行(平成8年3月29日)
- <サロン・あべの>10周年記念絵葉書「わがまち阿倍野」3シリーズ発行
第1集「歴史のあるまち」・第2集「チンチン電車の走るまち」・第3集「まちかどスケッチ」
- サロングッズ [絵葉書2種(風景・第2集花だより)、一筆箋、阿倍野いろはがた]制作と販売

★幸せを試さないで

幸せを試さないでください。あなたの両手のなかに空から落ちてきた、やわらかな幸せに、あなたの爪を立てないでください。

ずっと手のなかに持っている、つい試したくなるのでしょうか？ どれくらい押さえつけても大丈夫なのか、どれくらい強さで傷つけても壊れないのか、あなたにとって大事なものだから、それをどうしても知りたくなるのです。

幸せを試したくなるのは、あなたが、その幸せに退屈しているから。あなたの腕のなかで眠る小猫のような安らぎも、抱いているだけで満足できるのは最初のうちだけ。腕がだるくなると、小猫のひげをひっぱってみたくなるのでしょうか？ どれだけたくさんの幸せが、ただそれに飽きた人たちの退屈によって傷つけられ、打ち捨てられたことでしょうか。失って気づくのは、ずっと前からわかっていることなのに。

あなたが、どんな幸せにも退屈してし

まうのは、いまの幸せの次にくるものがわからないから。美しい音も、ずっと聞きつづけたら耳が痛くなる。鮮やかな色も、ずっと見つめていると目が疲れてくるように。

幸せの次にくるものは、きつと、あなたが自分で開いていくもの。待っていないで足を踏み出して前に進んでみたら？ いまの幸せが、きつと勇気をもって歩むあなたの支えになってくれることでしょうか。

幸せにも、深さと広がりがあることを忘れないでください。あなたが退屈しかけた幸せは、まだまだ浅くて、他の人が耐えてきた苦しみに届いてはいません。それに、とても狭くて、他の人の幸せと豊かに交わることもなかったのです。

美しい花を一輪わたされたら、それを見つめながら休んでいてもいいのですよ。それは、あなたがこれまで耐えながら噛みしめていた唇の色なのですから。でも、その花びらを何気なくひっぱり始めた自

分の指に気づいたら、花を胸のポケットに入れて歩きはじめましょう。退屈から幸せを守るためには、勇気をもって前に進むしかないのです。

(知)



☆ハサロン・あべのV郵便振替口座を開きました。ご利用ください。

□座名 サロン・あべの

□座番号 ○〇九五〇一九一二六九四一

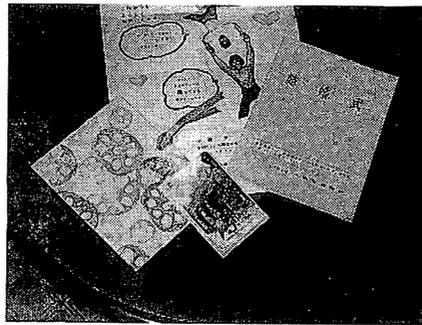
作る つくる 創る

河合恵子

素敵な結婚式

春は結婚式のシーズン。多くの新しいカップルが誕生しますが、三月二〇日、中田治さんと許純子さんが挙式されました。お二人はサロン・あべの海外旅行についてお話しされたことがあるのでご存知のかたは多いでしょうが、この結婚式はとても心のこもった印象的なもの。挙式された場所は天王寺の大阪聖愛教会。新婦のご両親が式を挙げられた教会だそうです。二階の聖堂の祭壇には燭台が置かれ、真白い布の敷かれたヴァージン・ロードの両サイドにはリボンが巡らされ、小さな花瓶に入れた可愛い花が添えられています。祭壇近くには車椅子の席が用意され、多くの親族・友人の見守る

なか、新郎のもとへ美しい新婦の入場とても愛らしい小さな女の子が白いドレスで付き添いをつとめます。式次第に則って二人は誓約を交わし、司祭が



芽ばえの会々員が手作りした包み紙にお二人のメッセージとテレフォン・カードが入っていました。

結婚を宣言、二人のために祈り、祝福滞りなく式は終わり、祭壇をバックに記念撮影。その後、一階でパーティーです。乾杯、祝辞のあとは、新婦の友人の歌、CHUTTAー参加者が各

国の言葉で「おめでとう」のメッセージ。そして極めつけは、中田さんの妹さんの「南京玉すだれ」の披露と、お父様の紙芝居。室内は和気あいあいとした雰囲気にも包まれ、また中庭のテーブルでも話はずみずみ。お色直しはピンクの花模様の青いチマチヨゴリ。帰りに出席者にお二人が手渡して下さったメッセージとテレフォン・カード。これは蓮根を使った判を押したピンクの包みに入っています。作ったのは、列席した芽ばえの会の重度重複障害をもつ会員たち。

お二人は今春より、東京・大田区のハンディホイラーで旅行業務を担当。六月には関西発のスィスツァーを企画されています。(連絡先・03-5705-3151)

ドイツからの手紙

St. Andreasberg, 29th March, 1996

Dear Keikol

Thank you very much for your last letter and for the beautiful postcards. It's a special technique I don't know.

I am back from "La Palma" since 6th March. It was my first flight since my apoplex 1987. I enjoyed it very much. "La Palma" is a bizarre isle of lava: for instance I've never seen a black beach before. Besides there are great mountains of lava of more than 2000 metres, so I've some problems with walking. In March there were only a few tourists on "La Palma", so that I can recover very well and could get new power for my job. Besides my pleasure for travelling is coming back and I am planing other journeys, perhaps one time to JAPAN. But in the moment I must test, how much I can rely on my body.

I am in a very good periode of my life, for instance there are no problems with my job, my boy-friend or my body. Step for step I can win back aktivities out of the time before apoplex. By this way my self-conciuousness is growing slowly.

I hope, you have such a sucessfull time, too. Wich turn does your desease take? Have you also a better time in spring when temperature rises?

At last I wish you and your group a nice Easter.

Waiting for your next letter

Yours

Brigitte

親愛なる慶子さんへ

お手紙と美しいハガキをありがとうございました。私の知らない特別な技法ですね。

私は3月6日に「ラ・パロマ」から帰っています。1987年の卒中で倒れて以来の初めての飛行機での旅行でした。

「ラ・パロマ」は火山岩でできた奇怪な小島です。たとえば、今まであんな黒い海岸は見たことがありません。一方で2000m

級の山々があります。それで私は歩くのが少し困難でした。

3月だったので「ラ・パロマ」では観光客が非常に少なかったの、私も元気を取り戻すことができ、仕事に新しい力を得ることができました。他方で私の楽しみは、(旅先から)帰って、又、次の旅行を計画することです。たぶん一度は日本へ行くことになると思います。しかし、今のところ、私の体が耐えられるかどうかテストをしなければなりません。

今は私の人生でとても幸せなときです。例えば私の仕事にも、私のボーイフレンドや私の体にも問題がありません。卒中以前の積極性を一步一步努力して取り戻していくことができると思っています。

この方法で自分自身に対する自信がだんだんついていくことと思います。

あなたのご成功も祈っています。あなたの病状はよい方へ向っておりますか。春になって暖かくなってきたら調子はいかがでしょうか。

では、あなたとあなたのグループの方々が幸せなイースターを迎えられますように次のお手紙を待っています。

ブリギッテ



第52回国民体育大会
おおさか ふれ愛 夢づくり
なみはや国体



第33回全国身体障害者スポーツ大会
ふれ愛びっく大阪
ときめいて今 はばたいて未来

これ、いいね。

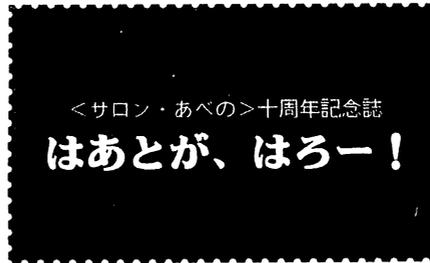
これからの出会い

花冷えの日が続きます。

さて、ハサロン・あべのV十周年記念誌
誠にありがとうございます。

こうして一冊の本にまとめられると、十
年の重みがずっしりと感じ取れ、ほんとう

R・T



にいいご本をと心よりお礼申し上げます。

私も六三歳となりますと、身体の衰えも
少しずつ感じられ、明日はわが身の思いで
ゆつくりと読ませていただきます。

最初の「あの日あの時・あの出会い」は
心に響くものが多くありました。原点とし
て、障害を持ちつゝいきいきとした自分の
生活をもてることを教えられた障害者との

感動の出会い。市立婦人会館で「社会福祉
と地域福祉」の二年間の受講で障害者と健
常者が同じテーマで仲間になれることを実
感させてくれた周囲の人々の温かい心との
出会い。や、斉藤氏や聴覚障害をもちつゝ
モンブラン登山をはたした真に自立した男
性との出会い。「あべのボランティア・ピ
ューロー」に出会い岡氏に勧められハサロ
ン・あべのV開設への道が開かれていくこ
とに、ほんものの「出会い」のあり方を教
えられました。世にボランティアと称する
団体が数多くあっても、なかなかうまく育
たないのはなぜかの問いへの答がこの中に
たくさんあり、とても参考になりました。

「これからの十年は、今までよりも老い
という重みが加わり、歩みも遅くなること
でしょうが、それ以上に出会いの味が深み
を増してくれることでしょう」のことは通
りに、ハサロン・あべのVがその存在感を
増してゆかれるようにと念じます。

表紙秀逸・中身充実

M・T

きょうは「サロン・あべの」と記念誌を

ありがとうございました。

立派な本にも驚きましたが、表紙の装幀に暫し、目が釘づけという程見とれました。

秀逸ですね。今度、この表紙のノートを製品化して下さい。中身はもちろん、充実の内容で、これまで出来る迄のご苦労おたいへんだったこと、一気に読ませていただきました。

読んで思ったことは何ひとつ誇れるものを持たない自分が情無いということ。安易な生き方一筋で、六十年近く一体何んのだ

めに生まれてきたのでしょね。と反省しても、この後も変わらないでしょうが。

「ガンバラなくちゃ」

吉田 幾俊

「はあとが、はろー」完成、おめでとうございます。

△サロン・あべのVの願いは、人との出会いを大切に育むことであり、そこから思っても寄らないドラマが生まれてきた。

十年間の活動を綴った巻頭のエッセーは、

わがまち阿倍野 絵はがき散歩①

お寺や神社にならともかく、こんな大きな樹がまちなかで見られるのは珍しい。樹齢四百年といわれるこの楠は、庚申街道を南へ、南港通りの信号を越えて、少し行ったところにある。亭々と茂る大樹は今、衣更えの真最中である。

執筆わがまち阿倍野

○歴史のあるまち

○チンチン電車の走るまち

○まちかどスケッチ

〒155-8511 西田辺二丁目

そう優しく教えてくれているようで、感動しながら一気に読み終えました。

また、活動を支えていただいている様々な方々の暖かい眼差しは、寄稿された文面からも強く感じられ、いつもの集まりと同じ、アットホームな気分が嬉しくなりました。

なにより、みなさんが前向きな姿勢で仲間と共に充実した人生を送ろうと努力されている様子には、本当に大きな励ましと勇気を与えられました。ひとことでは、「はあとが、ほっと。頑張らなくちゃー」そんな感想です。

ありがとうございました。是非、みなさんも購読されることをお勧めします。素敵で爽やかな冊子なんですから。了

すてきなイラスト

泉澤浩義センタービラ

國井 由紀子

「はあとが、はろー！、サロン・あべの十周年記念誌」をご寄贈下さいまして、大変ありがとうございます。

十周年、おめでとうございます。記念誌

もいつもながら、すてきなイラストで装われていて、心さわやかにあります。

皆で有効に利用させていただこうと思います。

なつかしさ伝わる「絵はがき」

土屋 由美子

「わがまち阿倍野」の絵はがき、ステキですね。一度も行ったことのない場所なの

になつかしいという不思議な気持ちがありました。夕暮れに電車に乗っていると車窓から見える、灯の窓の中の家族だんらんのよ

うな（あそこには愛とやすらぎがあるんだな）という温かさを感じました。不思議ですね。同じ街を描いても、冷たく無機質に描く人とビル街を描いても温かく描く人

「わがまち阿倍野」から伝わるなつかしさは、描かれた人・石田さんの想いだと、感じられます。

温かみある街角

緑風 薫

素敵な絵葉書、ありがとうございました。絵になると、作者の技術か、普通の街角に何とも言えない温かみがあるものですね。

美智子のこんな話

岸田 美智子



大阪市の全身性障害者介護人派遣事業について、昨年暮れ、税務署から大阪市の税金の申告がなされていないとの指摘があったようです。これについて大阪市の制度を利用して

いる障害者の生活に重大な影響が出てきています。税金がかかることで登録ができない介護者がやめてしまうケースが増えています。障害者は、介護が生活に密着しているために介護者がいなくなれば食事や風呂

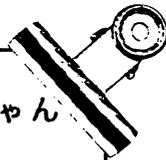
大阪市は介護者を確保して下さい！
ー全身性制度の確定申告についてー

ライフ・ネットワークの場合、代表で介護料を受けている介護者が、実際にはその額面どりの支払いを受けていないことを証明する「申立書」を添付して確定申告をしてもらうこととなります。手続きに手間

がかかり登録介護者の方々には大変な面倒をおかけすることになります。しかし一方で、この大阪市からの突然の通告によって、地域でこの制度を利用して

阪市から税金についての説明は一切なされてきませんでした。「コーディネートにかかる費用」や「団体での利用」の制度の基

本的な問題などについてなんら言及されてこなかったことと申告の周知が徹底されてこなかったこととは無縁ではないと思いま



おもしろい 姉ちゃん

サクラサク

桜咲く。私の担当一人が無事に高校に合格できました。

生意気盛りで、私の言うこ

となどちつとも聞いてくれず、

「勉強しいや」

と何度いつても無視されれば

なし。たまに一緒に勉強すれば、自分が変わらなくなると

「おばはんの教え方が悪いから、わからないのじゃ」

と言われ、

「勝手にし」

と私がドアをバタンとけたたたく閉めたことも。



受験の日は日で、送り出した先生が、合格祈願の鉛筆を持っていくように勧めてくれるのに、

「もったいないから」

と訳の判らないことを言う始末。

それでも、なんとか合格の報告に

前進の力が抜ける思いでした。

田 淵 美登利

す。

私達はまず何よりも、障害者の生活がおりやかされている現実について市のすみやかな対応を要求していきたいと思えます。

必要な事は、税金の申告について昨年度の申請についてはできるだけ免除の方向で税務署に働きかけ、申告方法について詳しく相談に応じること、介護者がやめてしまつて生活に困っている障害者に市として介護者を紹介していくシステムを作ること、だろうと思います。介護者確保については、私達ライフ・ネットワークとしてもできるだけの応援をしていきたいと思えます。

そして、来年度以降にむけ、この制度の基本的な問題の改善を今こそ要求していかなければならないと思えます。

「税金がかかる」というだけで危うくなるような制度を、現実に即したしつかりした制度に変えていかねばなりません。

以上のように、税金の申告の問題と長年私たちが言ってきたいる施設障害者などの介護者がみつからない問題、そして介護者の交通費や社会的な身分保障費などが考えられていない問題があります。さらに、こ

の制度を障害者個人で使っていける障害者は少なく、ほとんどの障害者が団体利用をして、その団体の職員がコーディネーター役を引き受けているのが現状です。そのコーディネーターの person 費も考えられています。このような問題を合わせて、今後大阪市との話し合いを進めていきたいと思っています。地域での二四時間介護保障に向けて一歩ずつがんばっていききたいと思っています。



粽(ちまき)

五月の節句に食べる菓子に粽がある。三角錐に包んだ笹をほどいたときの、笹のかおりがうつった餅、笹の緑が染まった黄色の餅は、どこかひなびた味わい、趣がある。なにがなんでも「かるた」です。

発行所 文芸春秋 二五〇円

完べきな福祉はむずかしい

出口正敏

桜の花も咲きはじめ、やっと気候も春に近づいてきたようです。いかがお過ごしでしょうか。

ハサロン・あべのV(一一七号)、有難うございます。

二月の出会いの記事に、障害者の現状におけるアメリカとの比較がありましたね。

何事にもアメリカには学ぶべきところは多いです。でも、この指摘はするどいと思っただころがありました。

一頁下段終わりに「自己主張の難しい人たちの福祉は遅れている」

一〇〇%の福祉がいかに難しいか、また光りがあれば必ず影がある、そんなことを感じました。

井元さんありがとう

秀翠

花冷えもおさまり、桜の花が咲きはじめました。

いつもハサロン・あべのV紙ありがとうございます。その中で井元真澄氏の「高齢

者と在宅介護」は、毎回、心して読ませていただきました。ありがとうございます。

ハサロン・あべのV十周年記念誌「はあ」とが、はろー!」と「わがまち阿倍野」の絵葉書一部ずつ送っていただきたいと思えます。御身大切に

引つ越しました

中根真

ハサロン・あべのV紙、いつも楽しく拝読しております。ありがとうございます。

さて、この度七年間の学生生活を終え、山口短期大学に勤務することになりました。遠くの地に移りました。結局一度もサロンの方へお伺いすることなく、少々残念です。が、いずれ必ず参りたいと思っております。で、よろしくお願ひ致します。それでは、皆様、お身体大切に。

昨年九月、ハサロン・あべのVの出会いで「福祉機器の話」自立に役立つ道具とは」でお話をしていただいた上田隆志氏の「ユーター」が引つ越されました。

ユーター 新店舗及び事務所

〒556 大阪市東住吉区杭全二一五五一一

TEL 〇六―七一九一五四八二

FAX 〇六―七一九一五四八三



サロン隣組ニュース

■「サロン淀川」

○サロン淀川5月の出会い

日 時・平成8年5月19日(日)

午後1時30分～4時

場 所・淀川区在宅サービスセンター「やすらぎ」

[大阪市淀川区三国本町2-14-3]

テーマ・「おとしよりと子供のふれあい」

地域を大切に、木川に住んでよかった

パネラー・榎川 伊藤 真一氏

会 費・なし

問い合わせ先・☎06-394-2900

大阪市淀川区社会福祉協議会

ボランティア・ビューロー

■「ウイズ東淀川」

○ウイズ東淀川の出会い

日 時・平成8年5月12日(日)

午後1時30分～4時頃

場 所・東淀川会館3階(エレベーター・車いす利用可)

内 容・「福祉機器の現状」

～福祉の今の事情～

講 師・時田和明氏

会 費・なし

問い合わせ先・

電話06-340-3082(鈴木昭二)

FAX06-320-4004(宮脇 均)

☆4月に新しく「サロンつるみ」が出来ました。偶数月の第1日曜日が出会いの日です。ご参加よろしく。

お問合わせ先；鶴見区社協・ボランティアビューロー、

TEL06-913-7070・FAX06-913-7676(担当=藤井・山本)

タクシー券をポヤク

郷 村 裕美哉

区役所からタクシー券を送って来ました。大阪に来て、ぶあついタクシー券を見てホクホク

「わあ！九六枚もある！」

伊東は四八枚でした。私はいつも半年で使いきってしまいました(伊東には地下鉄ありません)。

でも大阪では去年も今年も、半分も使っていません。今年も二枚しか使ってませ

ん。ちょっと心にひっかかるのは「九六枚あげるよ。一年分やで」といっておきながら「一回乗る時、一枚しか使うたらあかんで」。私のマンションから、新大阪駅まで、二〇〇〇円です、一枚と一四〇〇円。三枚

使っていていいのやったら、券一八〇〇円と二〇〇円ですむのに。「一年間これだけで、これ使いきってしまたらもうあげへんで」と言うのやったら、六〇〇×九六〇五七六

〇〇分、一回で使ってしまうても…ええみたいいな、気するんですが…。

おまけに、タクシー券、リフトタクシー

券、公共交通券の中からひとつ選べということ…。ふりかけでさえ三色セットがあるのに！

「タクシー券、リフトタクシー券半々に下さい」とか「三つセットで下さい」ってのは、障害者の甘えなんですわね。

誰か、ポヤキ漫才の兄さんにポヤいてほしい

「コラ、区役所！ 障害者の為にと券くれるんやったら、タクシー券一回に好きなだけ使えるか、お好み三点セット、どっちかにしてくれえ…！」

~~~~~朗読テープのご案内~~~~~

「アベノ朗読ボランティアグループ」のご協力で、ハサロン・あべのV紙一七号の録音テープが出来ました。バックナンバーは三九号から、一一七号の分があります。五〇号は、九〇分と六〇分の二本のテープに、一〇〇号は、一二〇分テープ二本にそれぞれ収録されています。又、絵本「未知の記憶」(作・絵||中川勝彦、「ラジオたんぱ」(三〇分)放送の『ハサロン・あべのV平成七年五月の出会い』)もあります。いずれもご希望の方には、ダビングをします。富田までお申し出下さい。

(☎〇六六九一一〇二八)

感謝

カンパ、切手、お茶菓子、写真、祝電、冊子等のご寄贈。一筆箋、絵葉書、十周年記念誌、エッセー集、阿倍野いろはかるた等お買い上げありがとうございました。

お礼を申し上げます。

石田 律、井上きみ子、井上憲一、岡 知史、黒羽玲子、杉山蔦枝、坂井 証子、周山逸人、田中美佐、富田慶子、富田万里子、表谷恵美子、吉田幾俊、山田絹代、脇坂博史、和田保子、その他多数の方々

魅惑のシャンソン

シャンソン歌手奥田真祐美さんが「第9回魅惑のシャンソン」を開催します。風薫る黄昏時にリラの花咲く地を想いながらコンサートへ出かけてみませんか。

日 時...5月25日(土)

開場PM5:30

開演PM6:00

場 所...アピオ大阪

森の宮ピロティホール

出 演...奥田真祐美

翫外 桑名正博

他

演 出...内海重典

演 奏...馬詰のりあき

& ザ・スクラッチ

入場料...前売4800円

当日5000円

お申込みは下記迄お願いします。

○奥田真祐美音楽事務所

〒545大阪市阿倍野区西田辺町

1-20-34

TEL・FAX (06) 692-8774

FROM EDITOR

編集後記

今月から阿部幸恵さんの「知的障害のある人の支援体制づくり」が始まります。わがまち阿倍野を「絵はがき散歩」でお楽しみください。117号の「おもろい 姉ちゃん」

をみて、「よかった。病気とちごたんや。あれなかったら、何や頼りのうてな」とさっそく電話をいただきました。(石)

編集人; サロン・あべの運営委員会・<サロン・あべの>Vol.118[ '96. 4.20.発行] 定価¥100.

代 表; 上平幸雄〒545 大阪市阿倍野区阪南町2-19-2-303 電話06-621-4365

連絡先; 富田慶子〒545 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 電話06-691-1028

表 題; 井上憲一・筆 文中イラスト; 石田美禰子

印 刷; セルフ社〒546 大阪市東住吉区北田辺町4-23-2ミスターDビル2F

TEL 06-719-8212 FAX 06-719-8213